

# 日本文化紹介講座

日本に住む外国人が、作る、着る、食べるなどの経験をとおして、日本の文化に親しみをもち、さらに日本文化への理解を一層深めてくれることを願っています。



4月

「生花」

広瀬 香節先生



5月

「茶道(抹茶)」

井上 宗千先生



6月

「着付け」

坂本 紀子先生



7月

「折り紙」

沢 まさこ先生



8月

「書道」

木村 明美先生



11月

「空手」

岩田 厚先生



12月

「刺し子」

藤原 一子先生  
田中 純子先生



1月

「投扇興」

田中 克郎先生



2月

「和菓子(さくらもち)」

畠瀬 恵美子先生



3月

「日本の感性  
(箏・三弦・尺八など)」

大月 宗明先生

## 外国語講座と日本語教室

### ハンガール講座



初級  
高 明喆先生

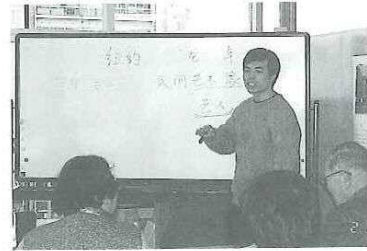


中級  
崔 泰順先生

### 中国語講座



初級  
鳥越 崇昌先生

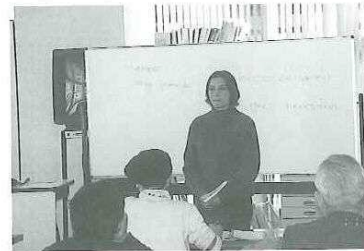


中級  
吳 峰先生

### スペイン語講座



初級  
高原 和子先生



中級  
フィデンシア・  
オルティス先生

### シニア英会話教室



アニタ・  
チャイ先生

### 日本語教室



木曜日はサロン全体が日本語教室になります



初心者グループのカードを使った「あいうえお」練習



カードを見てお話を作り日本語で話すこともできます

## 西大寺たごづくり教室バスツアー&在岡外国人との交流の旅 開催

協議会ボランティア通訳・翻訳登録者並びにホームステイ・ホームビジット登録家庭を対象に毎年度1回実施している「ボランティア通訳研修会」を、昨年に引き続き本年度も岡山市国際交流祭実行委員会と共催し、2月4日(日)に「在岡外国人との交流の旅」として開催しました。

当日は、ボランティア8名と在岡外国人32名の方々が参加されました。今回は「海遊文化館(歴史博物館)」(邑久郡牛窓町)を訪問後、さいだいじ冬フェスティバルの行事である「西大寺たごづくり教室」(於:岡山市西大寺ふれあいセンター)に参加し、駿河たごづくりに挑戦する外国人にそれぞれの言語で作り方を説明しました。



## ボランティア活躍記

### 「点から線に」

市川京子(ボランティア通訳登録者)

韓国語通訳ボランティアを始めた動機は韓国語で話したいとか、もっと上手に韓国語ができればいいな、という気軽な気持ちからです。

ボランティアを始めて、最初は伝える、通訳する事に神経を使いました。

ところがある日、私の能力ではとても難しすぎる～、ど～しよう、と思われる内容でした。

とにかく伝えなければ、この伝えたい気持ちが届くように心を込めて話しました。多分とても解りにくかったと思います。相手の方も一生懸命理解しようと質問、確認が繰り返されました。私の言葉の不足を補うように。

そして遠回りをしながらも私たちはたどり着けたのです。きっと相手の方も心から聴く努力をしていたからだと思います。

伝えたい思いと理解しようとする心が在れば言葉の不足は補えるのでは?

そこには人対人がいます。人対言葉ではなかったのです。そして初めて人として繋がって行く事ができると思いました。

通訳の現場を点とすると、この点に至るまでに計画したり、調整したりなど多くの人たちの力が働いています。そして私の点はその人たちの点と繋がって線になる。

目には見えないけれど多くの人たちと繋がっている。そう思うとチョッピリ感動してしまいます。

今は線にしか見えないけれど、たくさん線の伸ばし重なり広がればいつか面になっていくのでは。

この気持ちを味わうために通訳ボランティア続けているのかも…



マーチングフェスタin岡山にて(右端が筆者)

### 「初めてのホストファミリー…心のふれあい」

岡本広美(ホームステイ・ホームビジット登録家庭)

私たち家族は、今回初めてホストファミリーを体験しました。それも二人の青年を同時期に入れ替わりに受け入れることとなり、とても期待もしていましたが、不安もいっぱいでした。一人はベトナムからの青年で2泊3日我が家に滞在しました。短い期間でしたがとても楽しく過ごしました。

そしてベトナムの青年と別れる日から今度は、オーストラリアの青年を受け入れる予定になっており、このオーストラリアの青年と一緒にベトナム青年のお別れパーティに参加しました。その場で、オーストラリアの青年は通訳の方に何か話をして様子です。そして私に通訳の方が「彼は〇～〇まで仕事ですから心配しないで下さい。」と説明してくれました。しかし、私はその言葉にショックを受けました。直接私に話をしてほしかったと思っ少しくやしくもありました。英語力には乏しいかもしれませんが、最初から第三者を通して話を進めていって、これから三週間、私たちはどうやってコミュニケーションをとればいいのかと不安になりました。しかしその不安は、その晩、解消されました。彼は私に、オーストラリアについて色々話してくれました。不安が解消されてからは彼との距離もどんどん近くなり三週間とても楽しく過ごせました。主人は彼に将棋を教え、子供たちは彼といっしょにプロレスごっこをして遊び、おじいさんは彼と酒を飲み、それぞれ彼とふれあい、とても楽しく過ごせたと思います。言葉は通じなくても一生懸命伝えようと思う気持ちがあれば、コミュニケーションはとれるんだということを今回のホームステイを通して学びました。この二人の好青年にありがとうを伝えたいです。今は……



オーストラリアの青年とその友人(後列2人)を囲んで(右端が筆者)

# 『岡山あいフェスティバル2000』開催

第11回岡山市国際交流祭「岡山あいフェスティバル2000」が、昨年10月28日(土)・29日(日)(於：西川アイプラザ、下石井公園一円)を中心に開催されました。

今回は、世紀の節目にあたることから「心をつなげて21世紀へ」というテーマを、各事業に盛り込んで展開されました。

## 開会式・オープニングイベント

(西川アイプラザ5階ホール 10/28)



←24か国・地域による国旗  
入場とテープカット

コンフォート・アンデス→  
による南米音楽演奏



↑中田天神宮魁神楽保存会による  
建部郷の獅子舞



↑バリ舞踊

## 子供のための国際理解の集い

(西川アイプラザ5階ホール 10/29)

「遊びを通して世界を知ろう」をテーマに、岡山市内の小学4年生から中学3年生を対象に行った。韓国・中国・フィリピン・インドネシア・モンゴル出身の方を招いて、それぞれの国の挨拶や遊びを通して異文化への理解を深めた。



## おかやまグローバルビレッジ

(下石井公園一円 10/28・29)

↓メインイベントの巻き寿司ミレニアムリング(2,000cmの巨大巻き寿司)(10/28)と相撲場所(10/29)



↓ステージ・パフォーマンス(10/28・29)



↑世界各国の料理や民芸品等を販売  
した各国ブース(10/28・29)



↑世界の民族衣装着付けと写真撮影等  
を行った協議会ブース(10/28・29)



↑来場者がモデルとして出演した世界の  
民族衣装ファッションショー(10/29)

各国の挨拶を書いた紙を持って→  
ブースを回り、外国人と挨拶を  
交わすとそこでスタンプをもら  
う、「世界のあいさつスタンプラ  
リー」  
(10/28・29)



←21世紀の世界への願いやメッセー  
ジを付けた風船を、参加者・来場  
者全員で空に飛ばした、「みんなの  
夢を宇宙(そら)に飛ばそう！」  
(10/29)

## ホームステイ&外国人との交流会

(岡山市立少年自然の家等 9/30・10/1)

19家庭の市民と外国人23名が参加。1日目はホストファミリー宅で過ごし、2日目は岡山市立少年自然の家(岡山市日応寺)を訪れ、野外炊事やネイチャーゲームなどを通して交流を深めた。



## 岡山市国際交流祭コンサート—心をつなげて21世紀へ—

(岡山市立オリエント美術館ギャラリーホール 12/2)

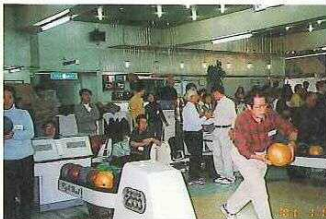
韓国人とドイツ人のギターデュオ「イ・ソンウ&オリバー・ファルタッハーナイニ」による演奏と、韓国伝統舞踊グループ「柳会(ポドルフェ)」による公演が行われ、日頃触れることが少ないジャンルの音楽や文化に触れる良い機会となった。



## 国際親善新春ボウリング大会

(両備ボウル 1/14)

日本人30名、外国人30名が参加。日本人と外国人がペアを組んで交互にボールを投げ合い、2ゲームの合計点数を競った。大会後は、各賞の表彰や参加者の交流会を行った。



## まほろばの里“高松”歴史と音楽の祭り参加

(高松城跡公園一円、最上稲荷 11/19)

古代吉備文化の発祥の地である高松地区で開催された同イベントに、35名の外国人が参加し、三味線餅つきや盆踊りなどの伝統的な日本文化を体験した。また、最上稲荷神社の見学も行った。



## 西大寺たこづくり教室&たこあげ大会参加

(西大寺ふれあいセンター 2/4、吉井川河川敷 2/11)

さいだいじ冬フェスティバルの行事として開催された、たこづくり教室&たこあげ大会へ参加。たこづくり教室には外国人32名と岡山市国際交流協議会に登録しているボランティア通訳・翻訳者8名が参加し、岡山風倶楽部の指導を受けながら駿河たこづくりに挑戦した。たこあげ大会へはたこづくり教室参加者を中心に33名の外国人が参加した。



# ふれあいトピックス

## 大韓民国富川市から国際交流員来岡

(平成12年4月7日)

大韓民国富川市から国際交流員として金 弘楸(きむ ほんぐ)氏が来岡。同氏は岡山市役所国際課に勤務され、富川市との交流における通訳・翻訳等をはじめ、市民との交流行事等様々な事業で活躍。



萩原岡山市長から辞令を受け取る金氏

## 理事会並びに総会開催

(平成12年4月24日)

岡山市国際交流協議会の平成12年度理事会並びに総会を岡山市役所で開催した。また、総会終了後、来岡中の洛陽市技術研修生を囲んでの懇談会を行った。



理事会



総会

## カナダから国際交流員来岡

(平成12年7月17日)

国際交流員として岡山市役所国際課に勤務していたシリン・エシュギ氏と、同じく友好交流サロンに勤務していたリサ・J. ファーリー氏が、共に任期を満了し昨年7月に帰国。後任は、カナダのカルガリー市出身のアニタ・チャイ氏で、友好交流サロンに勤務され、外国人向け生活情報紙「あくら」の翻訳・編集、また、シニア英会話の講師等として活躍。



帰国のため菱川岡山市助役を表敬訪問する  
エシュギ氏(右端)とファーリー氏(左端)

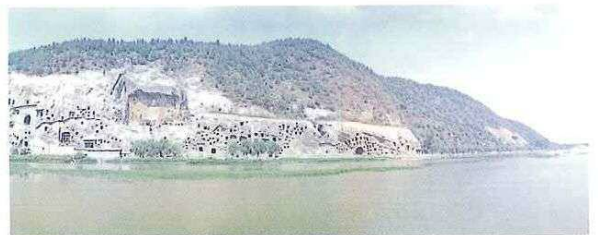


友好交流サロンで勤務するチャイ氏

## 洛陽龍門石窟 世界遺産に

(平成12年11月30日)

オーストラリアのケアンズで開かれた国連教育科学文化機関(ユネスコ)の第24回全体会議で、中国洛陽龍門石窟の世界遺産登録が決定された。



# ホットミニ情報

- ◆「岡山市友好訪中団」一行29名が中国洛陽市を訪問し、同市で毎年開かれる牡丹祭りへの参加、同市人民政府表敬訪問、同市申窪村希望小学校訪問等を行い交流を深めた。〈助成金交付事業〉  
(平成12年4月16日～4月21日)
- ◆岡山市立岡山後楽館高等学校と教育交流を行っている米国サンノゼ市シルバー・クリーク・ハイスクール生徒一行が来岡。  
(平成12年4月22日～4月25日)
- ◆張 占奎 中国洛陽市外事弁公室主任が来岡され、岡山市国際課と両市の交流事業について打ち合わせを行った。  
(平成12年5月30日～5月31日)
- ◆洛陽教育交流訪問団一行41名が中国洛陽市を訪問し、岡山市立陵南小学校と友好交流協定を締結している同市申窪小学校と同市実験小学校児童と交流を図った。〈助成金交付事業〉  
(平成12年8月6日～8月11日)
- ◆岡山市内の小学6年生35名で構成された、岡山市少年サッカー洛陽親善訪問団(団長：岸本盾一氏)一行が、「第10回日中友好少年サッカー交流大会」に参加するため中国洛陽市を訪問した。〈助成金交付事業〉  
(平成12年8月22日～8月29日)
- ◆岡山市立岡山後楽館高等学校生徒一行33名が修学旅行で中国洛陽市を訪問。洛陽市外国語学校と友好提携を結んだ。〈助成金交付事業〉  
(平成12年11月10日～11月14日)
- ◆中国洛陽市老城区東都商業ビルで大規模な火災が起き309名の命が奪われた。ここに謹んで犠牲者の方々のご冥福をお祈りします。  
(平成12年12月25日)
- ◆岡山サンホセ交流協会(会長：谷 義仁氏)の主催により、「姉妹縁組サンホセ市展」がまちかど美術館・サンホセ(岡山市駅元町)で開催され、サンホセ市の写真や民芸品の展示が行われた。  
(平成13年1月24日～1月29日)
- ◆洛陽市人民政府一行訪日視察団5名が来岡し、岡山市の環境施設及び下水道施設を視察した。  
(平成13年2月6日)



- ★ボランティア通訳・翻訳登録者
- ★ホームステイ・ホームビジット引受登録家庭
- ★外国人向け生活情報紙「あくら」編集ボランティア

随時募集しておりますので、よろしくお願いいたします。

## 岡山市国際交流協議会事務局

〒700-8544 岡山市大供1-1-1 岡山市役所国際課内  
TEL:086-803-1000 (内線3520~3523)  
FAX:086-225-5408  
E-mail:kokusaika@city.okayama.okayama.jp  
URL:<http://www.city.okayama.okayama.jp/shimin/kokusai/index.htm>

〒700-0903 岡山市幸町10-16 西川アイプラザ4階 友好交流サロン内  
TEL:086-234-5882  
FAX:086-234-5878